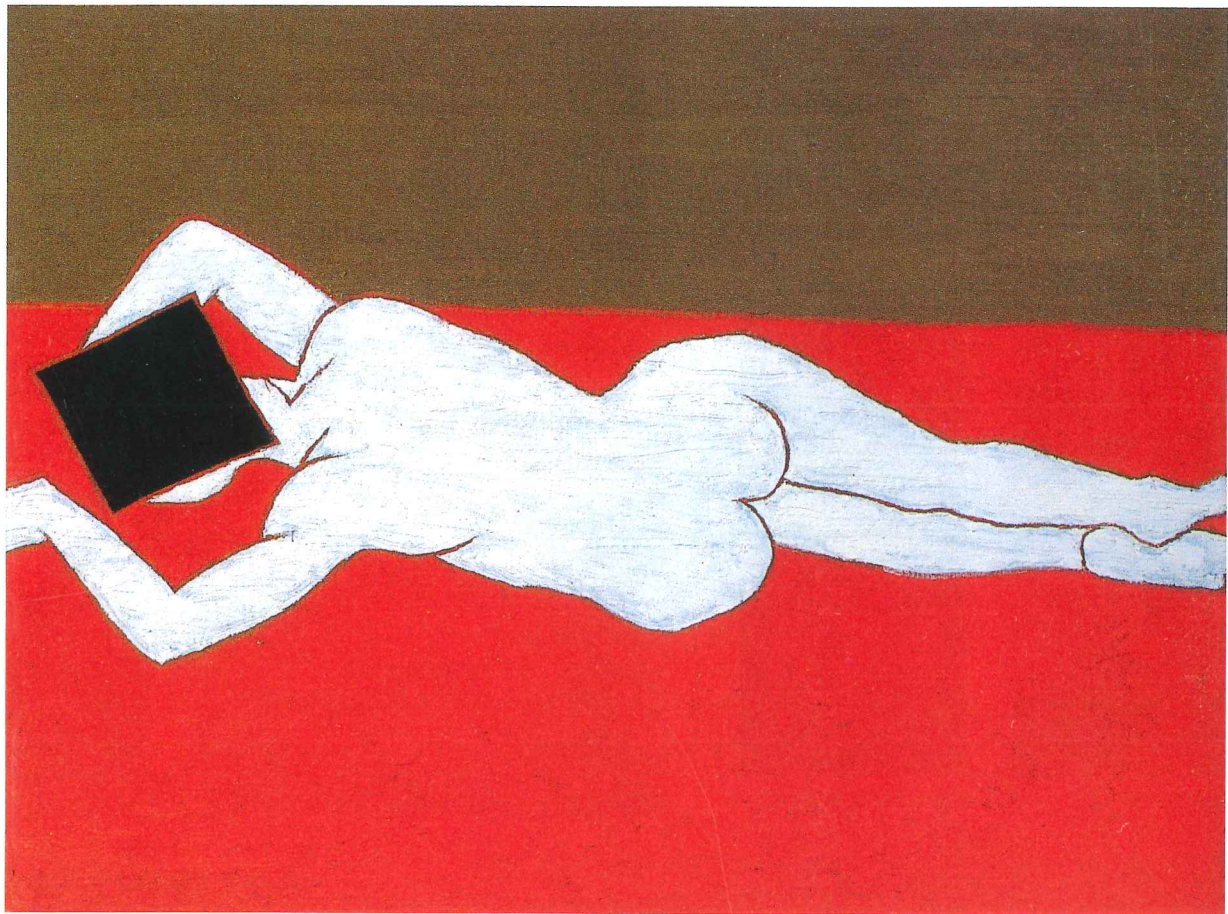


寂聴

美のコレクション

2023年 4月8日(土) - 5月28日(日)



熊谷守一「臥裸婦」横尾忠則現代美術館蔵(旧瀬戸内寂聴コレクション)

[会場] 1階特別展示室 3階収蔵展示室

[休館日] 月曜日

[開館時間] 9:30 ~ 17:00

[観覧料] 一般 520 (410) 円 高校・大学生 360 (290) 円 小・中学生 260 (200) 円

\* ( )内は20人以上の団体割引料金。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。  
小・中・高校生は土・日・祝日は無料。

[主催] 徳島県立文学書道館

[後援] 徳島新聞社・四国放送・NHK 徳島放送局





瀬戸内寂聴（1922-2021）

は絵画や書を好み、常に身の回りに置いて創作のインスピレーションを得ていました。

本展では、寂聴が愛蔵していた岡本太郎のスケッチ画や片岡球子の絵画、榊莫山や熊谷守一の書画などを展示し、これらの作品が寂聴の小説や随筆の中でどのように描かれたかを探るとともに、美術家との深い交流についても紹介します。

また、寂聴自作の木彫や水彩画、土仏なども併せて展示します。



アラン・ダーカンジェロ「Aspen, Colo」(1977)  
熊谷守一「臥裸婦」(1977)と寂聴(当時：晴美)  
© 新潮社

### 関連イベント

講演会 「寂聴さんと美の世界」 講師／太田治子（作家）

日時：4月22日（土）

14:00～15:30

会場：1階ギャラリー

定員：100人（申込多数の場合は抽選、  
申込締切は4月4日（火）。参加無料）



寂聴と太田治子さん

太田 治子（おた はるこ）

作家。1947年神奈川県生まれ。父は太宰治。NHK「日曜美術館」初代アシスタントを務めるなど、美術に造詣が深く、関連著書も多い。主な作品に『石の花—林芙美子の真実』『時こそ今は』『星はらはらと』『明るい方へ』『湘南幻想美術館 湘南の名画から紡ぐストーリー』などがある。寂聴とは高校時代に出会い、長く交流を続けた。

上映会 映画「瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと」

日時：5月14日（日）

14:00～16:00

会場：1階ギャラリー

定員：80人（申込多数の場合は抽選、  
申込締切は4月21日（金）。参加無料）

瀬戸内寂聴に17年間密着し、撮影した中村裕監  
督によるドキュメンタリー。



池田満寿夫「地蔵」



岡本太郎「晴美スケッチ」



横尾忠則「寂庵ポスター」



梅原猛「桃源郷はここ」

### 交通アクセス（JR 徳島駅から）

- 徒歩 約15分  
JR 徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号を右折して約300m。徳島中学校東隣。
- バス  
〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線（右回り）」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。  
〔徳島バス〕15番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。
- タクシー・自動車 約5分  
国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。
- 駐車場  
当館北側にあります（43台、大型バス2台）。



### <講演会・上映会の申込方法>

はがき・FAX・メールのいずれかにイベント名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号をご記入のうえ、お申し込みください。当館1階受付でも申し込みめます。



寂聴作の土仏